

会 議 録

(1)実施概要

会議名称	第10回泉大津市子ども・子育て会議
開催日時	平成30年10月16日(火)午後14時00分～午後16時00分
開催場所	泉大津市役所 3階 大会議室
出席委員 (敬称略、順不同)	長瀬委員、川西委員、大橋委員、阪上委員、田中(浩)委員 田中(桃)委員、植野委員、内藤委員、村田(あ)委員、平委員、納谷委員  (欠席) 久委員、佐島委員、村田(純)委員、秦委員  全15名のうち、出席11名、欠席4名
事務局	丸山教育部長、藤原健康こども政策統括監、堀田子育て応援課長、里見こども育成課長、柏こども育成課長補佐、木村教育政策課長、濱辺スポーツ青少年課長、西村指導課長、谷中福祉政策課長補佐、深澤障がい福祉課長、谷本子育て応援課長補佐、子育て応援課・伊加井あんしんサポート係長、竹村子育て推進係長
会議次第	1. 開会 2. 会長挨拶 3. 案件 ①泉大津市子ども・子育て会議委員改選について ②泉大津市の子育て環境の現状について ③いずみおおつ子ども未来プラン推進施策の実施状況について ④地域子育て支援拠点事業における「おやこ広場」について ⑤病後児保育事業について ⑥第1回、2回就学前施設再編検討委員会の報告 ⑦その他 4. 閉会
会議資料	【配付資料】 資料1 泉大津市子ども・子育て会議委員改選について 資料2 (H30)泉大津市の子育て環境の現状について 資料3 (H30)いずみおおつ子ども未来プラン推進施策の実施状況について 資料4 地域子育て支援拠点事業における「おやこ広場」について 資料5 病後児保育事業について 資料6 第1回、2回泉大津市就学前施設再編検討委員会について
会議の公開／非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開(傍聴者数3名) <input type="checkbox"/> 非公開
会議録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録 <input type="checkbox"/> 全文記録
その他の必要事項	なし

(2)審議概要(意見要旨、審議経過、決定事項等)

事務局による進行	<p>1. 開会（記録省略）</p> <p>2. 案件</p> <p>①泉大津市子ども・子育て会議委員改選について</p> <p>②泉大津市の子育て環境の現状について</p> <p>③いずみおおつ子ども未来プラン推進施策の実施状況について</p> <p>④地域子育て支援拠点事業における「おやこ広場」について</p> <p>⑤病後児保育事業について</p> <p>⑥第1回、2回就学前施設再編検討委員会の報告</p> <p>※事務局より上記を説明（記録省略）</p>
会長 事務局 会長	<p>◇事務局は案件①について説明してください。</p> <p>●事務局から案件①説明。</p> <p>◇案件①について、事務局から説明がありました。この件について、何か質疑ありますか。質疑はないようですので、案件②に移りたいと思います。事務局は案件②について説明してください。</p>
事務局 会長 委員	<p>●事務局から案件②説明。</p> <p>◇案件②について、事務局から説明がありました。この件について、何か質疑はありますか。</p> <p>◇7 ページ記載の市外の幼稚園利用者数について、人数増加について考えられる理由は？</p> <p>また、市外の内訳について教えてください。</p>
事務局 委員	<p>●増加理由については、私立の幼稚園が認定こども園に移行し、保育も担っています。そのニーズに合った形での増加だと理解しています。市町村の内訳ですが、現在分かる範囲では、近隣市である和泉市、堺市等が多いかと思えます。</p> <p>◇後日でいいので、市外の内訳について教えてください。</p> <p>※和泉市 119 人、堺市 2 人、岸和田市 1 人と各委員に回答送付済。</p>
委員 事務局 会長	<p>◇8 ページの②病後児保育について、南海かもめ認定こども園で実施されていると思いますが、平成 29 年度利用者 43 人が、南海かもめ認定こども園の利用者なのか、また別の所属の方なのか、その内訳を教えてください。</p> <p>●43 人のうち南海かもめ認定こども園の方が 30 人、他園の方が 13 人となっています。</p> <p>◇他に質問がないようでしたら、案件③に移りたいと思います。事務局は案件③について説明してください。</p>
事務局 会長 会長	<p>●事務局から案件③説明。</p> <p>◇案件③について、事務局から説明がありました。この件について、何か質疑ありますか。</p> <p>◇12 ページの切れ目のない相談支援体制の部分で、保健師による面接実施の中で、現在も継続的に支援を続けているような事例があるのか教えてください。</p>
事務局 委員	<p>●平成 29 年は支援継続が約 35 名おります。面接後に様々なアンケートを通じて妊婦の方やご家族の状況をお聞きしています。その中で、今後支援が必要と思われる妊婦の方に対し、電話相談や訪問を行って関係を築いています。</p>
委員 事務局	<p>◇2 ページにオレンジリボンキャンペーンやポスターの掲示とありますが、この啓発活動を行うことにより、通報の件数が増えているのでしょうか？そして、虐待に至るまでの予防としてセミナーや勉強会のようなことを市民対象に行う予定はありますか？</p> <p>●通報件数については、平成 28 年度が約 20 件、平成 29 年度が 31 件になります。また、今年度については、昨年度を上回るペースで通告があります。セミナーについては、虐待予防という名称で行っている訳ではありませんが、子育てについてということで保護者の</p>

	<p>方々のお悩み等を改善できるようなセミナーを地域子育て支援センターで行ったり、乳幼児健診等でも個別相談を行っているところです。</p>
会長	<p>◇23 ページの就学援助に関して質問です。就学までに学用品費等がなかなか工面できない家庭の方もいると思うのですが、就学援助の手続きや申請時期について教えてください。</p>
事務局	<p>●平成 29 年度までは、就学前の子どもを対象とした入学前の就学援助はなかったのですが、今年度から開始する予定です。時期については、年末あたりに行うよう現在検討中です。</p>
委員	<p>◇30 ページの発達障がいの支援体制の充実について質問です。放課後デイサービスについて、泉大津市内の放課後等デイサービスの事業所数と、利用するにあたっての基準について教えてください。</p>
事務局	<p>●泉大津市内の事業所数は、約 10 事業所になります。手続きについては、障がい福祉課の窓口に来ていただいて手続きを行います。医師の意見書等を提出していただき、窓口で保護者から職員が聞き取り等を行った後に支給決定を行います。その後、当該世帯の方と事業所で契約を行った後、サービスを利用していただくという流れです。</p>
委員	<p>◇資料 2 に戻りますが、10 ページの小学校児童数について、1 年から 6 年までの合計人数は減少傾向ですが、特別支援学級の児童数は増加しています。これはどのような要因があるのか、障がい福祉課と指導課の方にお聞きしたいです。</p>
事務局	<p>●特別支援学級の児童が増加していることについては、一般的に障がいに対する理解が深まってきたことが理由と考えます。昔は見過ごされていたことが、現在は理解等が深まり、障がいを患っている子ども達を支援することができるようになってきていることが大きな原因の一つだと考えています。</p>
事務局	<p>●児童福祉法が改正され放課後等デイサービスの実施主体が市に変わり、障がい児サービスの利用実績が平成 24 年から比べると、現在は約 5 倍に増加しています。適切な療育を早期に勧め、早期に支援を行うことが望ましいという考えについて、社会に広まったことが理由だと考えています。</p>
委員	<p>◇放課後等デイサービス事業については、スタッフの質が必要だと思うので、市全体で協力して児童発達の質を上げるように自分達も協力していきたいと思います。また、保護者の方々が良いデイサービス等を選ぶ目を養うことも必要だと思いますし、デイサービス側もできることやできないことについて、きっちり説明できる力をつけていく必要があると思います。</p>
委員	<p>◇保護者の方々の中ではやはり保育というニーズが多いと思います。子どもが 18 歳以上になって児童発達支援のサービスを受けることができなくなった後、自宅で子どもの特性等を見極めることができるのかと危惧する部分があります。今後どのような子育てをして自分の子どもを自立させていくのかという部分を障がい福祉課でも考えて支援をしてほしいと思います。あまりに簡単にサービスを利用できる現状になっていることが心配な点です。また、教育の方にお聞きしたいのですが、小学校 35 人の定数になっていますが、支援学級は軽度の方の利用が増加しています。そのほとんどが通常学級での学習となっており、担任の先生の負担が増えています。それに対して教育長に問い合わせたところ、法改正が行われ、平成 24 年度から各市区町村において柔軟な対応で人数を変更していいとなっているとのことなので、補助の担任を置くなど、工夫して対応をお願いしたいです。その点についてどのように考えているのか教えてください。</p>
会長	<p>◇保護者自身が子どもの自立を考えていくことができるサポート体制について障がい福祉課としてどのように考えているか、また、学校教育の中で担任の負担が増加していますが、担任へのサポート等について指導課の考えを教えてください。</p>
事務局	<p>●障がい福祉課としては、短期・中期的な目標設定を行い、セルフプラン等を一緒に考えながら支援する。あるいは計画相談の事業所がついて一緒に支援計画を考えるというような</p>

事務局	<p>状況になっています。成人に至るまでどのような形で支援していくか、保護者としてどのような支えが必要か、そのようなところまで障がい福祉課の支援が行き届いているか不透明な部分があるので、長期的な視野に立ち、支援計画をどう立てていくのか保護者と話を歩いていく必要があると考えています。</p>
会長	<p>●支援学級児童の件につきましては、教育長会議、指導課長会議、人事課長会議など、様々な会議の中で大阪府や国に要望していますが、なかなかいい返事をいただけていない状況です。本市の現状におきましては、他市と比較すると割合充実していると言われていました。介助員や特別支援員の充実という形で現段階では対応しております。</p> <p>◇その他、質問がなければ、続いて案件④に移りたいと思います。事務局は案件④について説明してください。</p>
事務局 会長 委員	<p>●事務局から案件④説明。</p> <p>◇案件④について、事務局から説明がありました。この件について、何か質疑ありますか。</p> <p>◇和泉乳児院が市から委託を受けて実施しているおやこ広場は、Mocomoco、まぎー・ぐーす、カンガルー・ポケットの3カ所あります。Mocomocoは市民会館で従来行っておりましたが、市民会館の閉館に伴い、浜幼稚園に移りました。今回、浜幼稚園の閉園に伴い、移転先がないということで、従来行っていたカンガルー・ポケットにMocomocoのスタッフが移るということで機能の継続性を図るということになります。回数については、Mocomocoは週5日開所していたので、週2回のカンガルー・ポケットでは足りない部分があると思います。しかしカンガルー・ポケットの場所としては、2ヶ所の中学校の近くということもあり利用しやすい立地だと考えています。数的には減少になりますが、認定こども園等のおやこ広場も機能してきていると思いますので、全体的には減少したという形にはならないのかと考えています。また、Mocomocoのスタッフで新たに訪問事業を行う予定です。保育に関して経験・知識が豊富なスタッフなので、子育てに悩んでいる方への訪問型の支援事業を新たに4月から行う予定で、現在、市と話を詰めている状況です。和泉乳児院として、できる範囲の協力をしていきたいと考えています。</p>
委員	<p>◇私は地域子育て支援センターで市直営のおやこ広場を担当しております。Mocomocoのスタッフの方は経験豊富な方が揃われているので、平成31年度からアウトリーチ型の訪問事業を行うとお聞きして、これまでなかなか発掘できなかった部分なので期待しています。よろしくをお願いします。</p>
委員	<p>◇感想にはなりますが、意見を述べさせていただきます。4月から開園しましたえびす認定こども園でもおやこ広場を行っています。地域の親子が赤ちゃん連れで毎日来られています。えびす認定こども園では、2階の和室を使用しています。そこまで広くはありませんが、たくさんの方に来ていただいています。雨の日でも風の日でも台風の日でもありますか？と問い合わせがあります。核家族化等の理由により、地域とのつながりがなかったり、相談する方が身近にいないということで、一緒に広場に来ている保護者同士で話をすることや、広場の先生に相談することにより、すっきりして帰って家事と子育てを頑張ろうという方も多いです。市内には様々な広場がありますので、子育てしやすい良い町だと思っています。</p>
委員	<p>◇子どもの虐待の問題についてですが、全国的にみると通報件数が13万件を超えるということで、増加の一途をたどっています。日頃から子育て支援に関わっている我々がもっと意識しないと虐待の未然防止は簡単ではないと感じています。おやこ広場などは、保護者の方と直で接するので、未然防止という点において非常に大切です。障がいを患うという点でも虐待問題は関わっているので、いかに早い段階から支援するのも大切です。きめ細かな防止策ということ意識していく必要があると思っています。</p>

委員	◇自分自身も3人の子どもがおり、Mocomoco とカンガルー・ポケットを毎日利用していました。それこそ雨の日でも風の日でも利用していました。Mocomoco は行きたい時に行くことができ、3人の子どもの子育てに関して助かりました。今後もMocomoco のように誰もが利用できて、行きたい時に行くことができるようなおやこ広場を続けてほしいと思います。
委員	◇地域子育て支援センターでは、各おやこ広場と連携をとっています。各おやこ広場の地図付の一覧表も作っており、そこに開催時間や駐車場があるか等の情報を掲載しています。また、子育てガイドブックにも情報を掲載していますので、参考にしてください。地域子育て支援センターのおやこ広場は土曜日も、そして高架下のココフレアは日曜日にも開催しています。
会長	◇その他、質問がなければ、続いて案件⑤に移りたいと思います。事務局は案件⑤について説明してください。
事務局	●事務局から案件⑤説明。
会長	◇案件⑤について、事務局から説明がありました。この件について、何か質疑ありますか。
委員	◇11月からえびす認定こども園で病後児保育が行われるとお聞きして、保護者会にとっても有難く思います。そこで保護者が安心して子ども達を預けられることを願って3つ質問させていただきます。1つ目ですが、病後児保育は、看護と保育が必要だと思います。その中で専任の先生が何人なのか、また正職員なのか非常勤なのかを教えてください。2つ目は、定員と対象年齢を教えてください。3つ目は、やはり近い施設を選ぶことが多くなるとは思いますが、今病後児保育施設がない校区へ拡大する予定があるのか教えてください。
事務局	●1つ目の質問についてですが、保育士が専任で1人、パートの予定です。えびす認定こども園には、看護師がおりますので、その看護師とも連携し、病後児保育を実施する予定です。2つ目の質問についてですが、定員は4名となっております。年齢で区切るのではなく、お預かりする子ども達の体調や、流行している感染症等を総合的に判断した上で、次の方に利用をご遠慮いただく場合もあると思います。3つ目の質問についてですが、自園で見ただけなのがよいと思われる方が多いと思いますが、病後児保育を行うには、一つ独立した部屋を設ける必要があるなどの諸条件があります。また、南海かもめ認定こども園で行っている実績としては、利用希望者をお断りしているという話はほとんど聞かないので、人数的にニーズは充足していると考えており、現段階では拡大の予定はありません。
委員	◇パートの方は保育士の資格を持っている方でしょうか？また、その担当の方が午前8時から午後6時までのフルタイム対応することは難しいと思いますが、どのように対応される予定でしょうか？
委員	◇えびす認定こども園で病後児保育を始めるにあたり、市の担当者と検討の場を設け、また、南海かもめ認定こども園にも見学に行きました。実際の担当者は、パートの保育士になります。病後児保育を行う午前8時から午後6時までのフルタイムの対応は難しいと思うので、そのフォローとしては、園の管理職等であたる予定です。
委員	◇南海かもめ認定こども園で行っている病後児保育は、委託事業ということですが、どのような形での委託でしょうか？委託の仕組みを教えてください。
事務局	●泉大津市から南海かもめ認定こども園に病後児保育事業として委託しております。南海かもめ認定こども園の中でその職員の方が対応されています。
委員	◇もし預かっている子どもの容体が急変した場合は、どのような対応をされるのでしょうか？

事務局	<p>●そのような状態も想定されると思うので、近隣の医療機関と連携するようということに条件に委託しております。</p>
会長	<p>◇その他、質問がなければ、続いて案件⑥に移りたいと思います。事務局は案件⑥について説明してください。</p>
事務局 会長	<p>●事務局から案件⑥説明。 ◇案件⑥について、事務局から説明がありました。この件について、何か質疑ありますか。特にないようでしたら続いて案件⑦のその他について事務局は何かありますか？</p>
事務局 会長	<p>●特にありません。 ◇特にないようなので、これで全ての案件を終了いたします。ここで事務局へお返しいたします。本日は活発なご意見をありがとうございました。</p>
事務局	<p>●次回の子ども・子育て会議は今年度中にもう一度開催させていただきたく存じます。改めて、日程調整の連絡をさせていただきますので、よろしく願います。これを持ちまして、第10回泉大津市子ども・子育て会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>
	<p>以上</p>